

テスト設計コンテスト'15

アピールシート

※ 全体でA4縦1ページに収まるように記述してください。

地域名

東京

チーム ID

S150719001

チーム名

しなてす

チーム紹介

「しなてす」はメンバーの基本的な集合場所が品川だったため「品川テストの会」というところから、“品川”と“品質”の品をメインに言いやすいように省略して、「品テス」から「しなてす」としました。

メンバーは4人で、WACATE2012 夏で WACATE に初参加したメンバーを中心に結成しています。

まえた: 横浜で組込みソフトウェアの QA を 2 年。現在は愛知で画像処理の組込みソフト設計中。

はるはる: 関数型言語が好きな IT 研修のインストラクター。

めい: Web・エンプラのテスト担当。テスト自動化スペシャリストニツ目。テスト設計 3 年生。

あみー: 品質管理→商品保証。テスト実施・設計担当者→テストコントロール。たまに実施。

コンセプト

しなてすは自動販売機メーカーに雇われた第三者検証会社という設定です。自動販売機メーカーは売れる自動販売機を売りたい。売れる自動販売機を作るためには、買ってもらえる自動販売機を作る、という観点から、「自動販売機オーナー(自動販売機メーカーの主要顧客)の安心を実現するテスト」を目指しています。

工夫点

- ・ステークホルダの関心事を、マインドマップを用いて分析した。
- ・テストがスムーズに進められるかを確認するため、インタークテストを実施することとした。
- ・テストベースをより深く理解するため、アクティビティ図を作成し、不明点・質問事項を洗い出した。
- ・テスト要求とそれを構成する部品は、階層構造を一覧形式で表現できる USDM を用いてまとめた。
- ・テスト条件のまとめ方を複数示し、評価ポイントを設けて評価の上決定した。(テストタイプとリスクベースの優先度の合わせ技でまとめることにした。) また、そのまとめ方の弱点を補うための対策をおこなった。
- ・テストケースの重複を避けるため、類似したテスト条件同士の関係を考察した。(テスト条件関係図)
- ・テストするかたまり(優先度やテストタイプ毎)をテスト実装・実施・報告しやすいように並べ、それをテストアーキテクチャとした。状態遷移図を改造した表記により、モデリングツールの力を借りた作成・保守を可能とした。
- ・テストケース作成前に、全テスト条件に対して適用する技法を検討して一覧にした。次に、技法毎にフォーマットを揃えることで、担当者が独自に(勝手に)考えて進めてしまいそうな部分を減らした。
- ・正常系テストにおいては、よく扱われる操作と確認事項をキーワード化し、テストケースを作る担当者によって操作や確認事項がブレないように図った。

【運営の工夫】

全員、所属会社も拠点も違うので、情報共有は Facebook グループ、LINE を使用し、ドキュメント管理は Google ドライブで行った。議事録は、履歴の確認や検索がしやすいよう、1 つのテキストファイルに累積する方法をとった。過去の経験より、進捗が一番捗る休日昼間に品川に集まり、成果物を作成した。